

第62回 日本PTA全国研究大会 長崎大会

参加報告書

富士市 PTA連絡協議会
母親委員長 石川 裕子

平成26年8月22日(金)～23日(土)

1日目は長崎県内10会場に分かれて分科会が、2日目は長崎市において全体会が開催されました。

『異国情緒豊かな長崎で 集い、語らい、学びあい』

～ きてみんな さるいてみんな よかとこばい ～ をスローガンに掲げ

- (1)家庭・学校・地域との強い絆で連携を測るPTA活動
 - (2)平和な国際社会を担う子どもたちを育てるPTA活動
 - (3)家庭の教育力の向上を目指すPTA活動
 - (4)子どもと本気で向き合い、かけがえのない命を大切にするPTA活動
 - (5)未来を生きる子どもたちのために、学びあい、繋がりあい、成長しあうPTA活動
- この4つをメインテーマとして研究討議が行われました。

1日目:長崎ブリックホールで行われた【第4分科会 広報活動】に参加しました。
《研究課題》

見たい 知りたい 参加したい つなぐ広報考えたい

(株)ジャパネットたかたの高田 明氏の基調講演から始まりました。
伝えるときは、目的を持って誰に何を伝えるのか、遠慮はせず思い切って伝える。
伝えつつもりでは、目的が達成できない。
情熱を持って伝える事が大切という事でした。

2日目:長崎県立総合体育館で行われた【全体会】に参加しました。

記念講演は【子は育ち、親も育つ。楽しまなくちゃもったいない】と題し高野 優氏が着物姿でマンガを描きながらの講演でした。
高野さん自身の三姉妹のお母様、それぞれの性格や日々の生活を楽しいマンガで説明されます。階段の上り下りの足音でわかるその時の機嫌、前髪が命、でもそれが触覚に見えてしまうのはなぜ?・・・
反抗期・思春期のお話は正しく我が家と同じで笑ってしまいました。
子育てに悩みは多いものですが、ちょっと力を抜いて考えてみようと思いき元気をもらった講演となりました。

今回は長崎で遠かったのですが、多くの方とお話もできとても勉強になりました。
有意義な二日間を過ごすことができました。